

Interview

インタビュー



今回は12月23日(土)・25日(月)にジッブアリーナで開催された中国選抜卓球大会に出場した卓球部女子にインタビューをしました。

(左から)
23HR 渋谷美佳 (しぶや みか) 湯原中学校出身
21HR 坂本莓香 (さかもと まいか) 新庄中学校出身
22HR 長尾咲来 (ながお さら) 蒜山中学校出身
13HR 平池璃奈 (ひらいけりな) 勝山中学校出身
13HR 安達帆葉 (あだち ほな) 新庄中学校出身



卓球の魅力は？

● 誰でも楽しめる所も魅力ですし、サーブの種類も多くて、こだわろうと思えば無限にこだわることができるところも魅力です。(安達)

卓球をしていて楽しいときはどんなときですか？

● 私は高校から卓球を始めた初心者なのですが、ボールをたくさん使う多球練習をしていて、スマッシュが決まった時に、先輩から「ナイスボール！」などの声掛けをしてもらった時です。(平池)

卓球をしていて辛いこと・苦しいことは？

● いつも入っていた球が入らなくなった時、試合で結果を残せなかった時です。(長尾)

練習は厳しいと思いますが、やっていて良かったと感じたことはありますか？

● 中学時代にやっていたテニスの打ち方の癖をなかなか直せずにいましたが、いつのまにか直っていた時練習の成果を感じました。(平池)
● 中学時代の卓球部では自己流で練習をしていた試合では棒立ちになってしまうことも多かったのですが、高校では先生方が熱心に指導してくださり試合でも動けるようになったことです。(安達)

卓球部はどのような雰囲気ですか？

● 一緒に練習をしている男子とも仲良く、先輩・後輩の壁もなくフレンドリーな雰囲気です。(渋谷)

卓球部の活動を通して身についた力にはどんなことがありますか？

● 外部の方が練習に参加してくださることも多くコミュニケーション力が身につきました。また自分の弱点はどこかなど常に考えることで課題発見力も自然に身についたと思います。(坂本)
● 相手の動きを注意深く見ることで、洞察力が身についたと感じています。(渋谷)
● 試合において、最後まであきらめない粘り強さが身につきました。(長尾)

卓球部員としてとって常に心がけていること

とが何かありますか？

● 顧問の先生の「応援される人になるように普段から行動しなさい」という言葉を大切に、大きな声で挨拶をするように心がけています(安達)

● 練習中は時間を大切にして、自分はもちろん相手の練習にもなるように1球でも多く打てるよう心がけています。(坂本)

中国大会に出場することになって家族や周囲の反応はどのようなものでしたか？

● 友人はすごいと喜んでくれました。家族は食事メニューを考えてくれるなど栄養面でもサポートしてくれました。(渋谷)
● 地元の新庄村では激励会を開いていただき、応援してくださいました。とても嬉しくて、頑張ろうと前向きな気持ちになりました。(安達)
● 男子卓球部員は練習相手になってくれました。色々なリクエストに対して全力で応えてくれ、有り難かったです。(長尾)

中国大会に出場した感想は？

● 岡山県の強豪校が試合で苦戦している様子を見て、驚きました。(平池)
● 強豪校は常にチーム一丸となって勝ちに行く姿勢が印象的で、ブレイクスタイルも様々で、色々な人がいるんだと刺激を受けました。(渋谷)
● 格上の島根県1位の高校と対戦しましたが、萎縮することなく楽しんで試合に臨むことができました。(長尾)
● 自分たちはまだまだ伸び代があると感じ、今後の練習に向けての意欲が高まりました。(坂本)

今後の抱負は？

● もっと練習をして強くなって格上の相手とも競り合うようないい試合をして、チームに貢献したいです。(平池)

● 2年次生は引退まで残り4ヶ月です。昨年に続き美作総体で優勝したいです。県大会でも勝ち進んで、もう一度中国大会のステージに立ちたいです。(坂本)

卓球部にぜひ入部してください！